



耶馬溪ダムに設置された地震計設備
地震観測装置ラック(上)と地震計計測部(下:計測部は他に2箇所設置)

大分県耶馬溪ダムで明星電気の地震計設備が運用開始！

国土交通省九州地方整備局山国川河川事務所様の耶馬溪ダムに、明星電気の地震計設備(S240多チャンネル地震計)が設置されました。

耶馬溪ダムは、山国川の豊かな環境資源を活かしながら安心して暮らしていくために、川の水の流れを適正に管理していく“治水”と、川の水の効果的な利用を図る“利水”の2つを目的として、昭和60年に大分県耶馬溪町の山国川支流の山移川に造られました。耶馬溪ダムは、最大流量710立方メートル毎秒(m³/s)の水を貯水池に貯留する洪水調節機能を持っており、これにより、下流の下唐原において約500立方メートル毎秒(m³/s)程度の流量を減らす治水効果をもたらします。また、流域及び周辺自治体で、水道・工業・不特定用水、さらには発電のために使用する水を貯水・調節・放流することで利水の役割を担っています。

明星電気の地震計設備は、耶馬溪ダムの安全管理にも活用されています。

(当社営業担当：九州支店 田中 琢也)



企業展示ブース

二酸化炭素国際会議(北京)でアピール！

6月3～7日、9th International Carbon Dioxide Conference (ICDC9)が中国北京で開催され、明星電気はポスター発表と企業ブース展示に参加しました。

この国際会議は、4年に一度開催される二酸化炭素循環に関する唯一の国際大会であり、1981年の第一回大会(スイス、ベルン)から始まり、2001年には日本(仙台)でも開催されました。

ポスター発表では、インドネシアの泥炭火災から排出される二酸化炭素モニタリングの取り組みを紹介し、企業ブースでは、関連する観測機器の展示を行い、専門家の貴重なご意見を数多くいただきました。

IHI北京事務所のサポートのもと、世界的に名高い研究機関やCO₂観測に長い歴史を持つ欧州の大学などに向け、明星電気の取り組みや観測機器をアピールしました。

国際会議を皮切りに、これまで以上に海外拡販を進めていきます。

(当社営業担当 グローバル戦略グループ 前田 亮太)



研修風景

インドネシア気象局(BMKG)研修員へGPSラジオゾンデのトレーニングを実施！

6月24日～28日、インドネシア気象局より4名、明星電気のインドネシア販売代理店SSP社より1名の方々が、GPS受信機を搭載したラジオゾンデ(以下、GPSラジオゾンデ)の研修の為、本社・工場およびつくば事務所を訪れました。

インドネシアには、明星のGPSラジオゾンデが設置された観測局が12か所あり、毎日観測が行われています。今回の研修では、実際にゾンデの観測を2回行い、ゾンデ・観測設備の扱い方、観測設備保守等の実作業の研修を行いました。インドネシア気象局から、“非常に理解が深まった、今後は毎年定期的の実施したい”との意向が示されました。今後もこれらの活動を含め、気象観測機器の海外市場への展開を進めていきます。

(当社営業担当:グローバル戦略グループ 長谷田 光俊)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。